

麦づくり情報 第4号

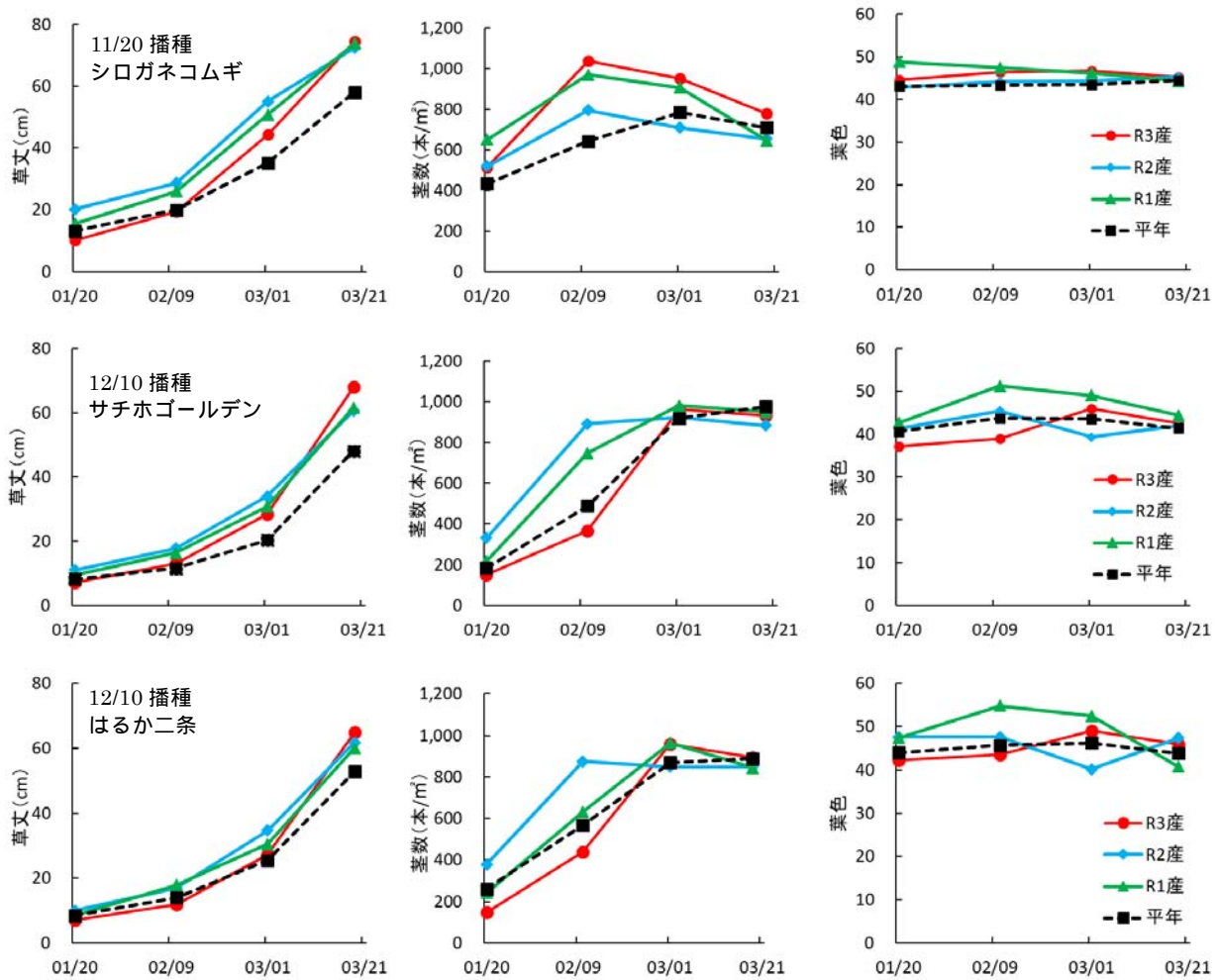
令和3年(2021年)3月19日
佐賀県農業試験研究センター
佐賀県米麦改良協会

◎農試作況試験における麦類の生育(3月19日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	止葉 葉位(L)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/20	本年	74.4	778	10.0	10.0	[気象] 3月1日~3月18日まで ◆平均気温…平年より3.4℃高い ◆日照時間…多い(平年比108%) ◆降水量……少ない(平年比79%) [生育] ◆草丈 小麦・大麦とも高い。 ◆茎数 11/20 播種「シロガネコムギ」は多く、 12/1 播種「シロガネコムギ」及び12/10 播種「はるか二条」は平年並、12/10 播 種「サチホゴールド」はやや少ない。 ◆葉齢 小麦・大麦とも進んでいる(+0.2~1.0 葉)。11/20 播種「シロガネコムギ」は止 葉葉位に達しており、平年より0.5葉多 い。 ※出穂期は小麦、大麦ともに平年より 早くなる見込み。
		平年	58.0	710	9.0	9.5	
		平年差(比)	128	110	+1.0	+0.5	
	12/10	本年	56.4	692	8.0	未	
		平年	39.2	702	7.8	9.2	
		平年差(比)	144	99	+0.2	-	
サチホゴールド	12/1	本年	69.3	961	10.3	未	
	12/10	本年	68.0	931	9.3	未	
		平均	48.1	976	9.1	9.8	
		平均差(比)	141	95	+0.2	-	
はるか二条	12/1	本年	65.5	927	10.1	未	
	12/10	本年	65.0	895	9.4	未	
		平均	52.8	889	8.9	9.8	
		平均差(比)	123	101	+0.5	-	
留意点	◆大麦において網斑病がみられる場合は、薬剤防除を行う。 ◆赤かび病の防除について 小麦:開花期(出穂期の約7~10日後)の防除効果が高く、さらに、開花から10~20日後頃に2回目の防除を行うと効果が高まる。 大麦:葎殻抽出始め(出穂期の約2週間後)の防除効果が高く、さらに、その7日後頃に2回目の防除を行うと効果が高まる。 ・本病の発生が多いパン用小麦及び本病に弱い大麦「はるか二条」については、2回防除を基本とする。 ◆パン用小麦においては、適正なタンパク質含有率を確保が重要であることから、必ず穂揃期追肥を実施する。なお、追肥Ⅱが施用できなかった圃場では、追肥Ⅱの半量を穂揃期追肥に上乗せして施用する。 ・パン用小麦の穂揃期追肥量(窒素成分量) ミナミノカオリ:4kg/10a、はる風ふわり:5kg/10a、さちかおり:6kg/10a						

- 注1)「シロガネコムギ」の平年値は、過去7ヶ年の内、最高と最低を除いた5ヶ年の平均である
 2)「サチホゴールド」および「はるか二条」の12/1播種は、今年産から実施のため、本年値のみを記載。
 3)12/10播種「サチホゴールド」の平均値は、施肥基準が見直し(追肥(窒素成分で2kg/10a)施用を
 追記)された平成28年産から5ヶ年の平均である。
 4)12/10播種「はるか二条」の平均値は、H30-R2年産の3ヶ年の平均である。
 5)苗立数は11/20播種で120本/m²、12/1及び12/10播種で150本/m²に設定。
 6)施肥量(基肥-追肥-追肥)は窒素成分量で「シロガネコムギ」:5.5-4.5-4.0、「サチホゴールド」:
 6.0-4.0-2.0、「はるか二条」:6.0-4.0-4.0

◎生育状況の比較



◎生育ステージの比較

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日) (平年差)		節間伸長開始期 (月/日) (平年差)		茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日) (平年差)	
			月/日	平年差	月/日	平年差		月/日	平年差
シロガネコムギ	11/20	本年	2/3	-1	2/17	+2	2/19	未	-
		前年	1/25	-	2/4	-	2/9	3/22	-
		平年	2/4	0	2/15	0	-	4/3	0
	12/10	本年	2/22	-4	3/6	-1	3/8	未	-
		前年	2/18	-	2/23	-	2/26	4/1	-
		平年	2/26	0	3/7	0	-	4/11	0
サチホゴ	12/10	本年	2/8	-	2/23	-	3/2	未	-
		前年	2/14	-1	3/2	0	3/4	未	-
		平年	1/31	-	2/22	-	2/26	3/28	-
はるか二条	12/10	本年	2/15	0	3/2	0	-	4/3	0
		本年	2/8	-	2/20	-	2/26	未	-
		前年	2/12	+1	2/25	-2	2/27	未	-
はるか二条	12/10	前年	1/31	-	2/16	-	2/19	3/26	-
		平均	2/11	0	2/27	0	-	4/1	0

注1)「シロガネコムギ」の平年値は、過去7ヶ年の内、最高と最低を除いた5ヶ年の平均。

2)「サチホゴ」の平年値は、幼穂形成始期および節間伸長開始期は過去7ヶ年の内、最高と最低を除いた5ヶ年の平均、出穂期は過去5ヶ年の平均。

3)「はるか二条」の平均値は、過去3ヶ年の平均。

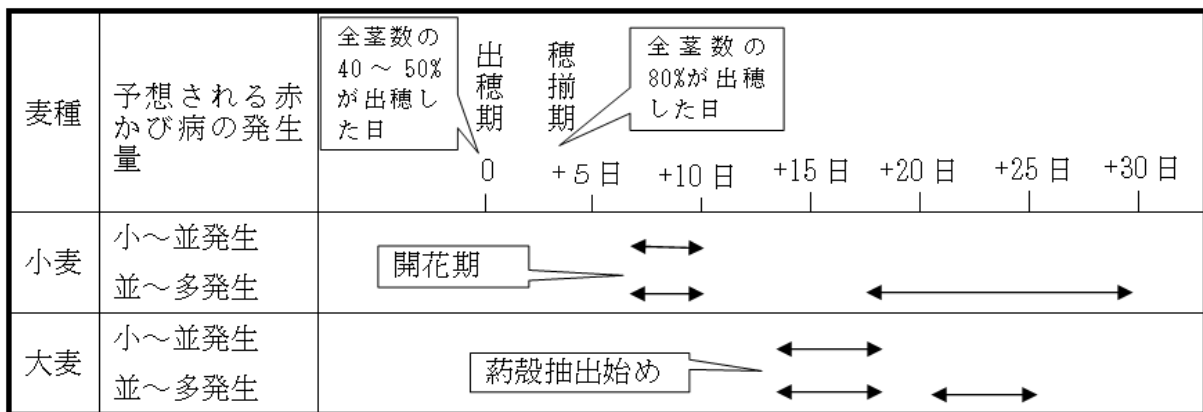
4) 茎立期は累年データが無いため、本年値及び前年値のみを記載。

(参考) 過去最も早かった出穂期について

品種	播種期 (月/日)	出穂期 平年値 (月/日)	過去、最も早かった出穂期	
			産年	出穂期 (平年差)
シロガネコムギ	11/20	4/3	R2 年産	3/22 (-11)
	12/10	4/11	R2 年産	4/1 (-9)
サチホゴールドン	12/10	4/3	R2 年産	3/28 (-5)
はるか二条	12/10	4/1	R2 年産	3/26 (-5)

注1) 各品種の平年値は、生育ステージの比較と同様。

◎赤かび病の防除適期について



注1) 出穂期とは全茎数の40~50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。

注2) 小麦の開花期とは40~50%の穂が開花した日。

注3) 大麦の葯殻抽出始めとは、50%以上の穂で葯殻が見え始めた日。

注4) 大麦で2回目の防除を行う場合、薬剤の使用方法(収穫前日数)に特に注意する。

注5) 矢印は防除適期を示す。

◎大麦の葯殻抽出の模式図

(矢印の部分)

上から見た図



横から見た図



◎小麦の出穂期予測

農研機構の成果情報として、「リアルタイムアメダスを用いた小麦の出穂・成熟予測システム」がWEB上に公開されているのでご活用ください。

URL:

http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html

2021年産 麦作期間気象図 アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

